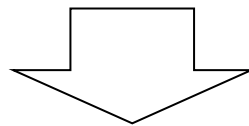


令和3年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 2年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 大事なことを落とさずに、話したり聞いたりすること。 順序に気を付けて、文章の組み立てを考えて作文を書くこと。 主語と述語の関係や順序を考えて、内容の大体を捉えて読むこと。 とめ、はね、はらいなどを捉え、字形を整えて正しく書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 特徴や順序を意識させるために、「何が大切なのか。」「どうして大切なのか。」を考えさせ、特徴を整理する。 「話の内容(初め)」「自分の考え(中)」「まとめ(終わり)」の構成になるように、組み立てメモを活用する。 主述の関係や順序を表す言葉、接続詞等に印をつけて視覚化する。 漢字学習帳を活用し、丁寧に書く指導を継続して行う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の意味を知り、計算が確実にできること。 数を十や百を単位としてみるなど、相対的な大きさについて多面的に理解すること。 量の単位や時間について知り、用いることができること。 図形を構成する要素に着目して図形を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や図を用いた乗法の問題作りを積極的に行う。 様々な形で捉えた数を、話し合い活動や全体でたくさん共有する。 長さやかさの単位を日常生活の場面で使えるよう、実際に長さや水のかさを測る活動を取り入れる。 折り紙などを使って図形についての感覚を身近なものにできるように指導する。自分自身で絵や図をかかせる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにすること。 観察や見学したことを動作、劇化、絵や文章などの方法で表すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 探検や見学といった学習を通して、地域の人々と関わったり、魅力的な場所などについて関心を広げたり、知りたいという意欲をもたせるようにする。 どんな方法で学習したことをまとめると、学習したことが分かりやすく相手に伝えられるか考えさせる。表現方法について様々な方法があることを、教師が示し、児童の考えを広げる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動にすすんで取り組み、きまりを守り仲良く運動すること。 場の安全に気を付けて運動することができること。 いろいろな運動の仕方を工夫することができること。 	<ul style="list-style-type: none"> きまりを守る意味を児童と確認しながら、遊びに必要なきまりを考えたり、守れているか確認したりする。 運動における危険について予想させ、危機回避能力を育てる。場面によって教師が危険な運動を実際に見せて指導する。 遊びを試しながら、「さらに遊びを楽しくする工夫はないか。」児童に問いかける。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを考える中で、「自分だったらどうする。」と自分に置き換えて考えること。 考えた価値への理解を日常で活かそうとする態度を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で「似たようなことあったね。」と尋ねたり「こういうとき、どうしたい。」と児童同士で話し合ったりして考えを交流させる時間を確保する。 係活動や友達同士の関わりの中で「頑張れそうなこと。」「やってみたいこと。」等の目標をもたせる振り返りを行う。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。また、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うこと。 ・音楽表現に必要な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の出合いを大切に、音楽を形づくっている要素を聴き取り、言葉や体の動きなどで表現したり比較したりしながら音楽経験を積み重ねていく。その際、友達と共有したり共感したりできるようにする。 ・くり返し音楽を聴いたり体を動かしたりしながら、楽曲に親しみ音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。 ・歌詞や曲の感じからどのように表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするのか、常に問いかけ、一人一人が思いをもてるようにする。低学年では特に「拍感」を育つように体を動かす活動を取り入れる。 ・声や身の回りの音など、友達と関わりながら音遊びに親しめるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かに発想すること。体全体の感覚や、技能などを働かせ、表したいことなどを、自分の表現方法でつくりだす喜びを味わうようにすること。 ・はさみや簡単なカッターなど、安全に気を付け、基礎的な技能を習得すること。 ○自分や友達の作品について、見ることに興味をもち、その楽しさを味わうこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことに合わせて、粘土、厚紙、クレヨン、はさみ、のり、簡単な小刀などの身近な材料や扱いやすい用具を使用し、手を働かせて、造形活動ができるようにする。 ・簡単なカッターなどの用具を、安全に留意して活用できるようにする。 ・自分や友達の作品について、形や色、表し方の面白さなどに気付けるようにし、友達の作品の表したかった気持ちを聞いて、楽しく鑑賞することができるようにする。



成果○ と 課題▼	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○色や形、様子を表す言葉に関心をもったり、「はじめに」「次に」という言葉を活用したりすることで、伝えたいこと・大事なことを意識することができた。 ○作文を書いていく中で「はじめに」「次に」という言葉以外にも、「そして」「また」「このように」などの接続詞を活用すると伝えたいことが伝わりやすいということに気付くことができた。 ○学習した漢字を書く習慣を付けたり、漢字学習に取り組むときは丁寧に書こうとしたりする意識が見られた。 ▼段落を分けることや、一文が長くなってしまおうという課題がある。教科書や見本となる作文を読むときに、「どうして段落が分かれているのか。」「主語と述語の関係」という点を考えさせ、定着を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を振り返り、自分の考えをまとめる時間を十分に確保することで、発表場面へとつなげることができた。また、自分の考えを積極的に言葉やアレイ図、数直線テープ、図などを使ってノートに書く児童が増えた。 ○タブレットを活用して、児童の考えを電子黒板に映したり、個々のタブレットに画面共有を行い手元で見られるようにしたり、全体で考えを共有することができた。

生活科	<p>○自分たちの住んでいる地域の商店街へ実際に行き、インタビューをしたり、実際のお店の中を見せていただいたりすることで、普段見えない部分があり、住む地域への愛着が形成された。</p> <p>○これまでの成長を本に書いたり、カードにまとめたりすることで、成長の様子をとらえることができた。</p>
体育	<p>○良い手本となる児童の姿を取り上げたり、様々な動きを取り入れて互いに見合う時間を設けたりすることで、児童がよりよい動きを理解して運動に取り組むことができた。</p> <p>○「さらに遊びを楽しくする工夫はないか。」と継続して問いかけたことで、新たなルールや遊びの工夫が生まれるようになった。</p> <p>▼遊びの工夫をより考えられるように、人数を変えることやコートなどの工夫など観点を示して指導していくことが課題である。</p>
道徳	<p>○日常生活から「こういうことがあった。」「こんなときに頑張れた。」と振り返ることで、学習する価値について「考えてみたい。」という意欲をもつことができた。</p> <p>▼自分が経験したことに対する「考えたい。」「考えを言いたい。」という意欲はあるが、経験したことがないことに対しては受け身になる姿が見られる。多面的・多角的に考える中で、「こういう見方もある。」という気づきを引き続き指導していく。</p>
音楽	<p>○コロナ禍にあっても、曲の特徴を捉え、2年生なりに音楽の見方・考え方を働かせることができるように音楽の用語を用いながら授業を進めるとともに拍を意識した授業を行った。また、鍵盤ハーモニカの学習の代わりに、木琴や打楽器を活用し授業の展開を工夫した。児童は音や音楽と楽しく生き生きとかわる態度が育っている。</p> <p>▼音楽科の授業はかなり活動が制限された。歌唱による表現の工夫をしたり、鍵盤ハーモニカの基本的な技能を伸ばしたりすることがむずかしかった。このような状況でも、さらに、音楽表現に対する思いを低学年なりにもって、表現したり音楽を聴いたりできるようにすることが課題である。</p>
図工	<p>○年間を通して、意欲的に制作活動に取り組んだ。</p> <p>○自分の作品について、積極的に発表して紹介する様子が見られた。</p> <p>▼絵の具での色の塗り方やカッターの使い方、まだ慣れない様子の児童に対しては、丁寧に指導していく。</p>